

ノリ養殖環境速報 KH-30-11 (播磨灘) 平成31年2月8日 発行

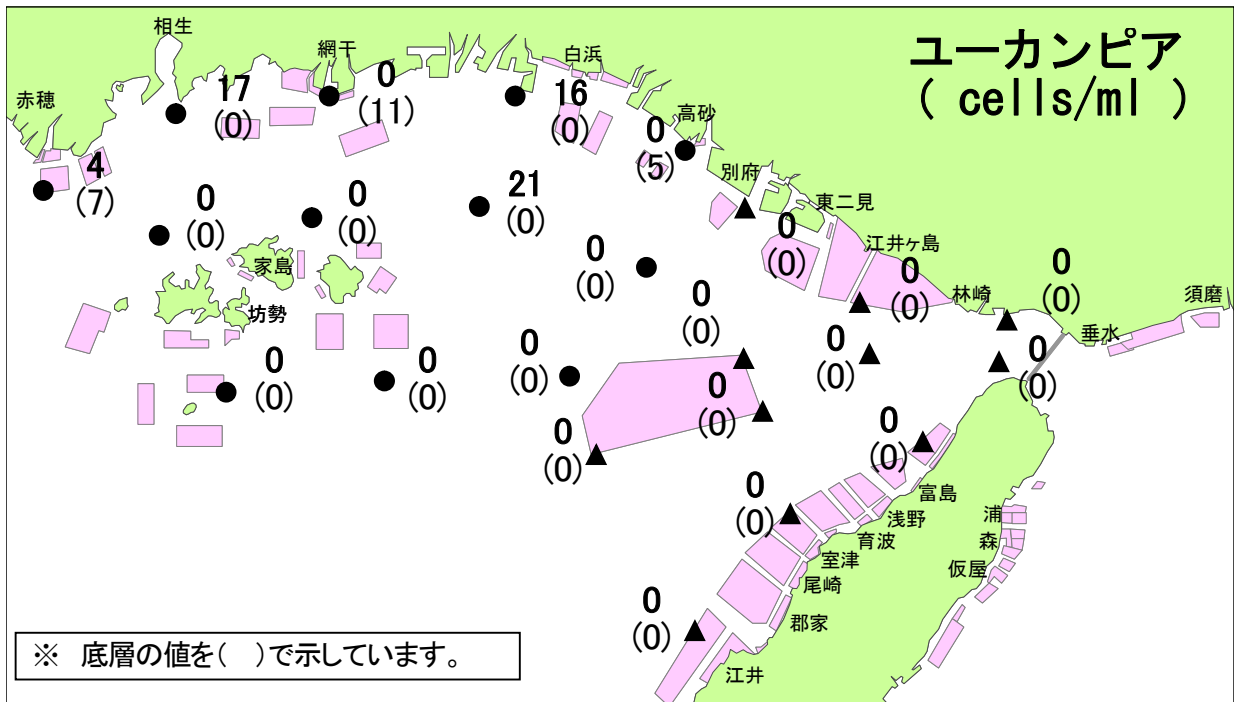
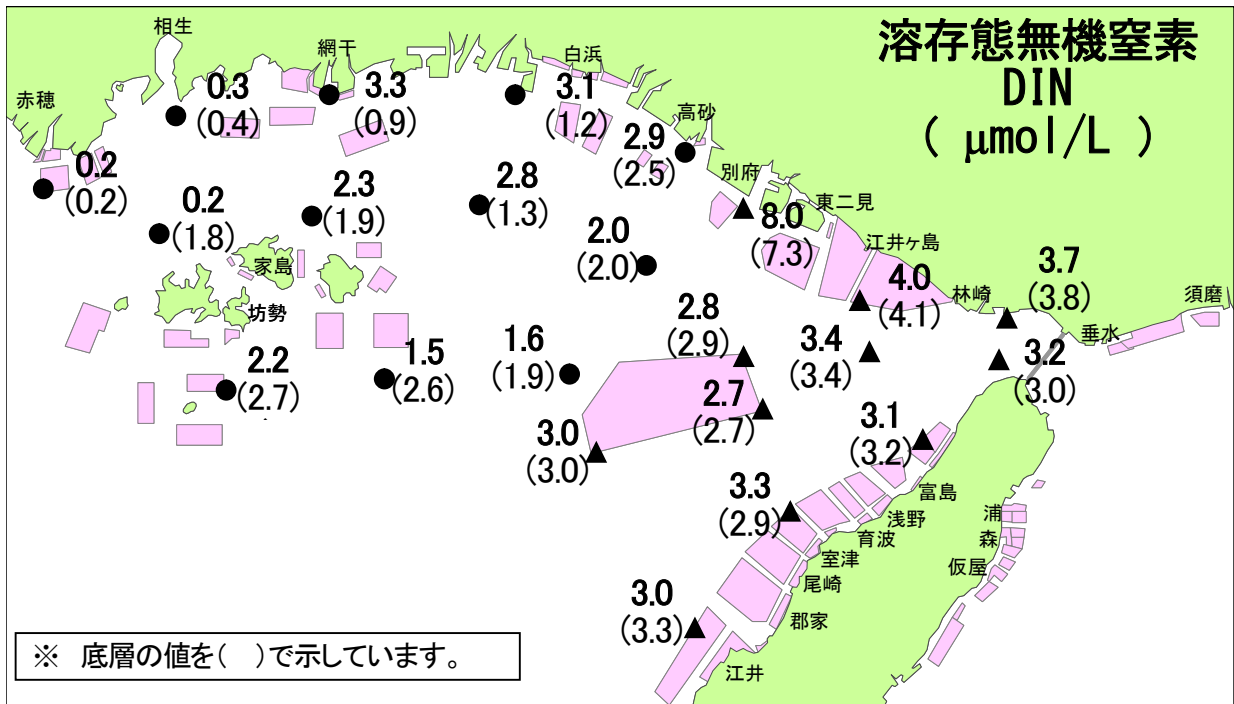
調査年月日：平成31年2月7日

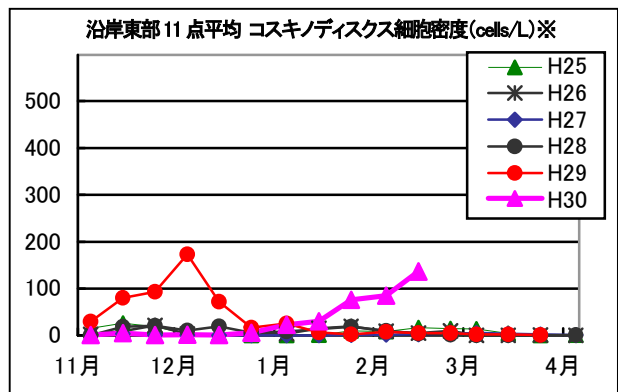
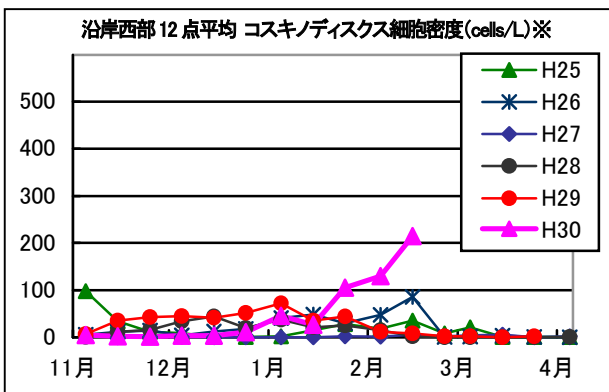
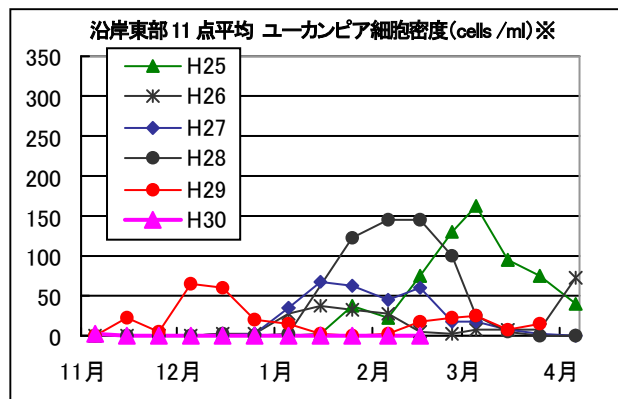
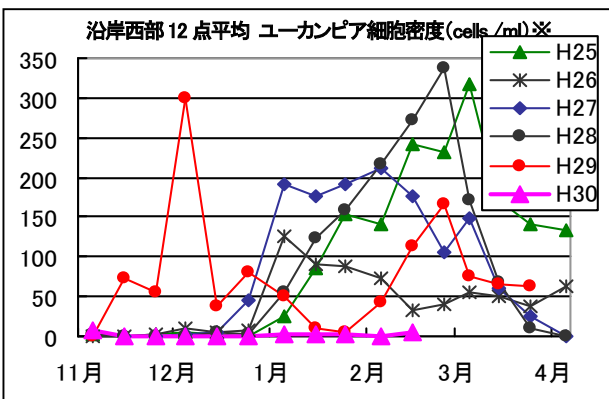
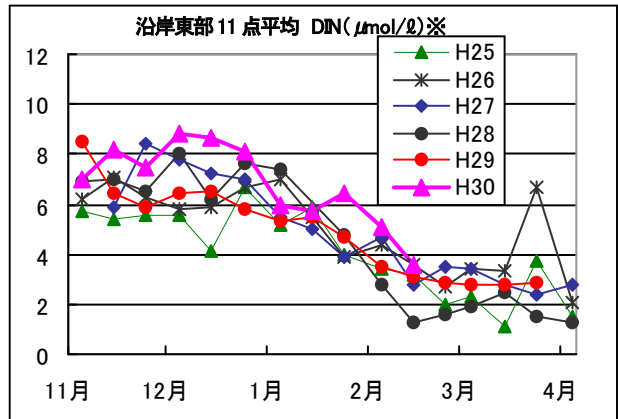
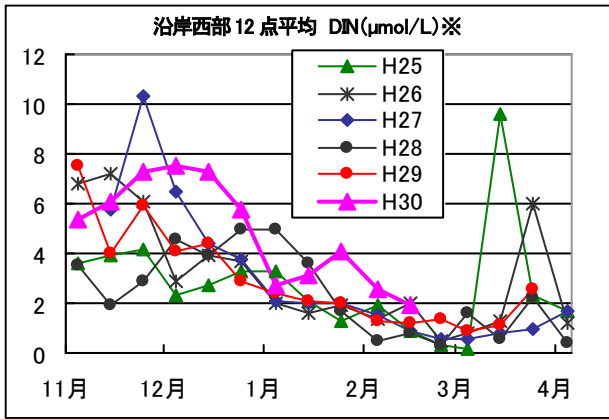
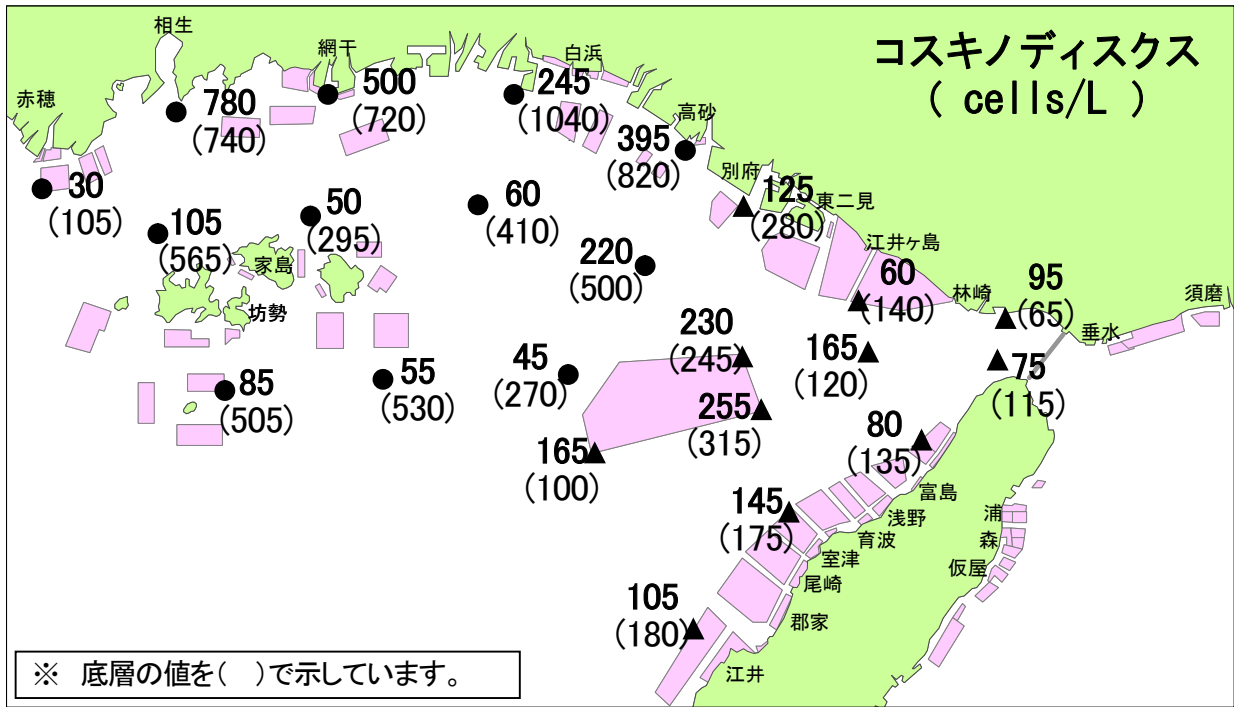
〔調査箇所は地図上に▲(東部)および●(西部)印で表示しています。〕

概況 播磨灘(調査海域)のDIN濃度は、概ね $4\mu\text{mol/L}$ 以下で推移しています。

大型珪藻のコスキノディスクスワイレーが北部全域で多く確認されています。ユーカンピアの一部の海域でわずかに確認される程度です。

水温は、白浜以西では $9.0\sim 10.9^{\circ}\text{C}$ 、家島諸島周辺では $9.2\sim 10.6^{\circ}\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で $10.4\sim 10.7^{\circ}\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では $10.7\sim 11.3^{\circ}\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では $10.2\sim 10.8^{\circ}\text{C}$ でした。

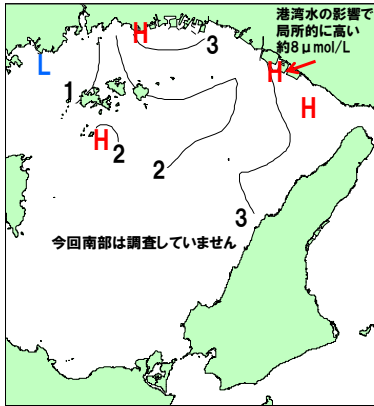




※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

平成31年2月7日の水平分布状況(表層、実測値)

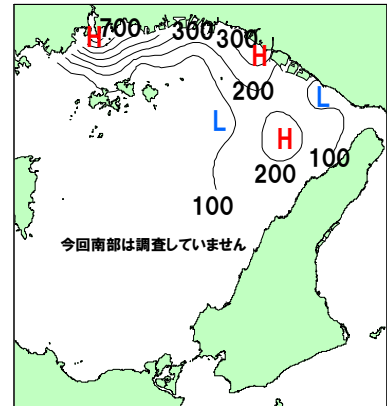
溶存態無機窒素濃度(DIN, $\mu\text{mol/L}$)



ユーカンピア(cells/ml)



コスキノディスクス(cells/L)



* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

播磨灘北部の表層の DIN 濃度は、概ね $4\mu\text{mol/L}$ 以下でした。相生以西の北部沿岸表層では、 $1\mu\text{mol/L}$ 以下となっています。播磨灘北部全域で大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーの発生量が多い状況は継続しています。穏やかな天候が続いていることから、前回と同様、底層に分布が多い傾向にあります(多い所では 1040cells/L)。今後も適度に栄養塩があり、穏やかな晴れの日が続くと、コスキノディスクスワイレシーの大量発生は継続する可能性がありますので、引き続き動向には注意して下さい。その他の珪藻類やユーカンピアは、少ない状況です。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年並みか少ないとされ、西部近隣海域の栄養塩濃度も低下しており、コスキノディスクスの発生量も多いことから、海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移はやや低下傾向と考えられます。

週間天気予報 気象庁 2月7日 16時32分 発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間(2/8~2/14)の近畿地方は、気圧の谷や寒気の影響で雲が広がりやすく、北部では雪や雨の降る日が多いでしょう。中部や南部では、高気圧に覆われて晴れる日もありますが、期間の終わりに雨が降る日がある見込みです。

最高気温は、平年並か平年より低いでしょう。最低気温は、平年並か平年より高い見込みです。降水量は、平年並か平年より少ないでしょう。

その他の情報

- ・岡山県の調査(2/5)では、日生沿岸の DIN 濃度(表層)は $1.0\sim 1.2\mu\text{mol/L}$ でした。同海域で大型珪藻のコスキノディスクスは $40\sim 50\text{cells/L}$ 確認され、ユーカンピアは確認されませんでした。
- ・香川県の調査については、以下の URL から参照してください。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

※栄養塩の単位： $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

【今後の予定】

- ・平成31年4月上旬まで毎月3回程度(上・中・下旬)の発行を予定しています。
 - ・次回は平成31年2月19日頃に発行する予定です。
 - *この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下の URL にパソコン等からアクセスして下さい。
- <http://www.hyogo-suigi.jp/>